

## 22～24「庭作り虫」

澤口 尚子

「庭作り虫」とはファーブルが『昆虫記』に書いていたオサムシのことですが、それ以外にも害虫退治、授粉、土作りなど陰ながら庭作りを手伝ってくれている多くの昆虫たちがあり、ぜひ知ってほしいと思いました。

## 25～29「アメリカ発行の昆虫切手の初日カバーとマキシマムカード」

白野孝雄  
アメリカにおける最初の昆虫切手は1977年6月発行のチョウ切手4種です。それから50年の間に30数回の純・準昆虫切手が発行されました。今回はその切手を用いた初日カバーとマキシマムカードを紹介します。(ルナモス除く)

## 30「マリア・シヴィラ・メリアン 人と作品」

宮坂 秀夫  
17世紀ドイツ生まれの女流植物画家、昆虫研究者兼画家の人となりと作品を切手を通じて紹介します。交通手段も確立されていない時代、南米スリナムに渡り、素晴らしい研究成果を生態画として残しました。

## 31～33 「世界のカブトムシとそのなかま」

柴田 茂  
昨年の昆虫切手展に出展した作品を2フレームから3フレームに作替えSTAMP-SHOW2026に出展した作品です。日本郵趣協会のHP「私の切手アルバム」も併せてご覧ください。<http://yushu.or.jp/virtual/index.html>

### ◆小型印デザイン

澤口 尚子

オガサワラシジミ(*Celastrina ogasawaraensis*)は日本の小笠原諸島のみ棲息、絶滅危惧1A類に指定され国の天然記念物で、種の保護法により各団体が保護活動をしてきましたが、外来種グリーンアノールによる捕食により絶滅したとみられています。

小型印申請図 6/13のみ使用



## 第39回 昆虫切手展



オーストリア 2025 絶滅危惧昆虫  
*Polyommatus damon* シロスジシジミ



### JPS昆虫切手研究会のご案内

定例会：毎月第2日曜日 14:40～16:10 (8月を除く)

切手の博物館 3F 会議室B (参加費100円)

年会費：2,000円 (中学生以下1,000円)

連絡先：〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-10-20

岡崎良隆 (代表) TEL03(5951)3311(郵趣協会)

Mail：澤口尚子 [naosawa@asahi-net.email.ne.jp](mailto:naosawa@asahi-net.email.ne.jp)

会期：2026年6月13日(土)～14日(日)

10:30～17:00 (2日目は16時閉場)

会場：東京 目白 切手の博物館 3F スペース1&2

主催：公益財団法人 日本郵趣協会 昆虫切手研究会

## ご挨拶

当研究会は、1970年にJPS昆虫切手部会として創設、その後研究会に移行して2020年に50周年を迎えました。会員の研究と収集の成果をまとめた作品をより多くの方々にご覧いただく機会として、ひとりでも多くの方に昆虫切手の魅力を知っていただきたく、1973年より切手展を開催しています。会員の作品を通して、古今東西の昆虫切手をお楽しみください。

各作品について、また研究会についてのご質問のある方は、ご遠慮なく会員にお尋ねください。

JPS昆虫切手研究会



14日(日) 13時より会場とZoomで作品解説を行います。

ぜひご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/81802222902?pwd=i2k3RVoK8IMLgalVHrxBmTbX7emkde.1>

ミーティングID: 818 0222 2902      パスコード: 717958

### 1～3 「絶滅・絶滅危惧・保全種」 澤口 尚子

日本では自然保護シリーズと特別天然記念物の切手がありますが、世界各国から、絶滅危惧種や自然保護の切手が発行され、環境や動植物を守ることの大切さを訴えており、昆虫を含むシリーズを地域ごとに展示しました。

### 4 「絶滅危惧種等の国連MC」 田中 克美

国連の絶滅危惧種の昆虫関係として発行された1998年、2009年、2022年のMCを13種のうち12種を出品しました。ほとんど自作で郵頼して作成したものです。

### 5～7 「国際養蜂会議」 田中 克美

2002年以来、24年振りに再度出品しました。1969年ドイツ、1975年フランス、1979年のギリシア等を追加しました。

### 8 「ルナ・モス Actias Luna (アメリカオオミズアオ)」 白野 孝雄

北米に生息する大形のヤマモユ科の蛾です。1987年6月に野生生物切手50種の一つとして発行されましたが世界で最初のルナ・モスの切手を発行したのは1971年12月のベルギーです。昆虫4種の1種として発行されています。

### 9～10 「世界のカミキリムシ」 柴田 茂

カミキリムシは世界で約3万種生息しています。例外はありますが触覚が長いのが特徴です。南米の熱帯雨林に分布する世界最大のカミキリムシ、「タイタンオオウスバカミキリ」も展示しています。

### 11～12 「マダラチョウ」 水野 達郎

マダラチョウの中ではカバマダラやオオカバマダラの発行数が圧倒的に多く作品構成でもこの2種が中心となりますがそれ以外のルリマダラ、オオゴマダラや中南米に分布するトンボマダラも含めてまとめました。

### 13～14 「チェコスロバキアの昆虫切手」 池内 昇

チェコスロバキアでは1950年代から他国に先駆けて多くの昆虫切手を発行してきました。1993年の「ビロード離婚」後のチェコ共和国の発行を含め、繊細な美しさの凹版切手や楽しい準昆虫切手の数々を年代を追ってご紹介します。

### 15～16 「スイス慈善(1950-1957) 昆虫切手左下隅マージン」 北村 守

スイスが1950年から57年に発行した慈善切手には31種の昆虫が描かれ、シート下辺マージンに昆虫名が独、仏、伊、ラテンの4語で書かれています。本作品はシート左下隅に、独仏2種類が存在することを示しました。

### 17 「世界のアカタテハ」 渡辺 隆

アカタテハは2属24種が知られ、この内11種が切手やFDCなどで取り上げられています。ヨーロッパアカタテハとヒメアカタテハは特に多くの国と地域でテーマとなっています。

### 18 「旧北区の昆虫切手」 須藤 公史

旧北区とは世界を6つに分けた動物地理区の一区分です。欧州から中国、日本までの北半球と北アフリカまで広がる広大なエリアです。旧北区と新北区の両区に分布する種も多いため全北区に分類される種も取り上げました。

### 19～20 「自作のマキシマムカード」 森 晋一郎

自作のマキシマムカード(MC)を本格的に作り始めて5年くらいになります。今回は昨年展示以降に発行された切手を中心にリーフを構成しました。昆虫と切手の様々な表情をご覧いただければ幸いです。

### 21 「アラブ土侯国の昆虫切手」 樋口 猛

昭和40年代にトピカル切手界を賑わせたアラブ土侯国切手です。切手としての正当性が疑わしく集める価値なしと言われていました。昨今のアフリカ、カリブの切手乱発国を見るに、まだこちらの方がマシではないかと思ひ、久しぶりにまとめてみました。